昭和大学病院

# クオリティインディケーター（QI）成果報告
## 〔麻酔科〕

## 指標名

麻酔科管理手術症例における麻酔科術前外来受診率

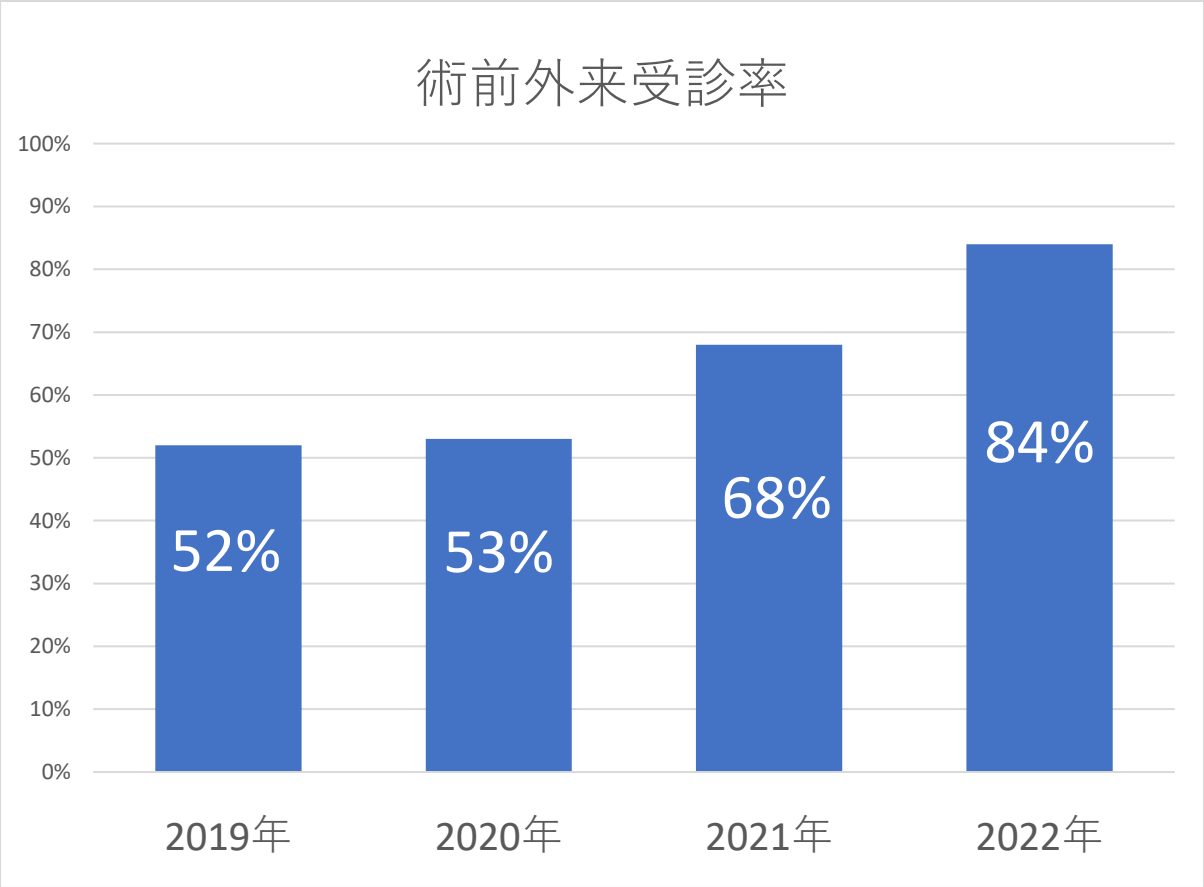
## 目標・ゴール

麻酔科が管理する手術患者の術前外来受診率 70%を目指す

## 目標・ゴール達成による効果

多職種（医師･看護師･薬剤師）による患者情報の共有を強化し、より安全で効率的な周術期管理を行う

## 目標・ゴールに対する成果の状況



## 目標・ゴール達成度

☑S　:大幅に目標を上回った

☐A$^{+}$:目標を多少上回って達成
☐A　:目標を達成
☐B$^{+}$:目標を少し下回った
☐B　:目標を下回った
☐C　:目標を大幅に下回った
☐ー　:外的要因により継続困難となった。

## 目標・ゴールの課題・改善策

2022 年度は麻酔科術前外来受診率が 68%から 84%に大幅に増加し、目標の 70%を上回る結果となった。

昨年増やした 1 日当たりの外来予約枠を維持したこと、各診療科に術前外来の存在を周知できたこと等が外来受診率の増加につながったと考えられる。

術前外来で医師、看護師、薬剤師が同時に情報を共有することでより安全に効率良く周術期業務を行えることが期待できる。

一定の割合で緊急手術があり、緊急症例は術前外来を受診しないことから、今年以上の大幅な上昇を望むことは難しいと考えられるが、目標値を 90%としてさらなる受診率増加を目指す。